

ひまわりプロジェクト

9 月～10 月の報告

◇ひまわり種収穫最盛期

八月の末から届き始めたひまわりの種。収穫最盛期を迎え、続々と福島に寄せられている種は現時点で約七五〇キログラムにも及び、中にはわざわざ福島まで種を届けに来る協力者もあり、ひまわり栽培で苦労したことやプロジェクトに関わって良かったことなど、協力者の生の声を聞くことができました。

栽培上で工夫したことは各協力者によって異なるようである鳥害への対策に関しては三者三様であった。透たなテグスを防鳥糸として使用したり、スーツを着せた真っ黒な顔のカカシを立てたり。どれも鳥の被害に

遭った経験を活かし、試行錯誤を重ねた末、効果のある方法を見つけ出したそうだ。

今年も鳥の被害は全国各地で見られ、せつかく大輪のひまわりが咲いただけに残念だったという声もあった。今年の経験を糧にして、来年に向けて各協力者の工夫を継続して共有していきたい。

◇ひまわり交流報告 十月七～九日 グリーンコープ訪問（福岡県）

さて、十月八日に福岡で開催されたグリーンコープの地域運動交流集會に参加した。昨年に引き続き二年目の参加となった交流集會。七日に福島を発ち、福岡空港にて同じく交流集會に参加した福島県川内村の「昭和横丁」の皆さんと合流をした。

その日は生活困窮者自立支援施設「抱樸館」やグリーンコープの認可保育園「松島りすの森保育園」、製品の放射能検査も行う「多の津流通センター」、パキスタンの貧しい子どもたちを支援する「フアイバーリサイクルセンター」等、グリーンコープの関連施設を見学。夜はグリーンコープや川内村の皆さんと交流会をした。

八日は福岡国際会議場にてグリーンコープの地域での活動について報告・発表する地域運動交流集會が開催された。その中の東日本大震災復興支援の取り組みとしてひまわりプロジェクトや川内村の方々の発表が行われた。ひまわりプロジェクトでは、多大な協力への感謝を伝えるとともに、今夏の「子どもひまわり大使」派遣の様子を中心に発表した。

八月三日から六日までの四日間、福島の子どもたちがひまわり大使としてグリーンコープや熊本県小国町の方々と交流をしてきた。現地の子どもたちと交流する様子や、様々な体験活動の様子のほか、子どもたちが現地で発表をしてきた「福島の今と復興」について一部を紹介した。川内村の方々は、「昭和横丁」の高齢者支援の活動の様子や、川内村や仮設の現状を報告していた。その他にもグリーンコープの活動報告は行われ、食の安全に関する運動をはじめ、福祉、海外支援など、活動の幅広さを実感した。



◇今年のひまわり感謝祭は 十二月十二日です

NPO 法人シャロームではひまわりプロジェクトの一年間の集大成として年末に「ひまわり感謝祭」を開催しており、今年も十二月十二日（土）に福島県福島市の MAX ふくしま四階 A・O・Z にて開催予定である。

ひまわりプロジェクト協力者たちの活動展示や、第十九回を迎える「共に生きる仲間たちのコンサート」、県内外市民活動団体・NPO の活動紹介、授産製品等の展示即売会などを行う。今年はそのに加え、「ひまわりプロジェクト・地域間交流フォーラム」を企画している。これを通してプロジェクトの協力者たちの声を交えながら、ひまわりプロジェクトの成果と今後への課題を考えていく。災害の被害が複雑化し、二次三次被害を作り出す中で、人と人との助け合いや、その前提にあるお互いの生命の尊さをテーマに、それを確認できる総合イベントとして開催予定である。

栽培協力者との交流の活発化、グッドデザイン賞の受賞など、各方面から注目されつつある「ひまわりプロジェクト」。今後も福島に住む障がいの

ある仲間たちや子どもたちの支援はもちろん、ひまわりを介して全国各地との相互支援ネットワークの形成を目指していく。そのために、これまで築いてきた全国の協力者とのきずなを大切にしていきたい。

(Y・K)

- 栽培協力者の皆様へ -

収穫した種は
こちらまでお送りください

〒960-8141

福島県福島市渡利鳥谷下町 6 7-1

ベーシック憩

TEL 024-529-6901

* 発送伝票の品名欄に「ひまわりの種」と記載ください

ご協力ありがとうございます！



憩の仲間たちが
ひまわり情報を更新中♪



最新情報はブログ記事をご覧ください！
blog「ひまわりプロジェクト 2015」

URL <http://shalom-net.jp/himawari/>